

第2期上下水道事業経営委員会（第3回）の主な質疑

【HP版】

平成29年2月22日（水）10時00分～12時00分

上下水道局3階301会議室

質 疑		答 弁	
【1 高岡市上下水道ビジョン（案）について】			
A委員	専用水道における規制は。	上下水道局	専用水道は、水道法の適用を受け、安全で衛生的な供給が定められており、水質の管理や施設の維持管理の適正を期すため、水道技術管理者を置くことが義務付けられている。
B委員	災害時の他事業体との連携について、そのひとつとして災害連絡管の整備が挙げられているが、現在高岡市との間に災害連絡管を整備している事業体はあるか。	上下水道局	現在、氷見市・砺波市・射水市との間に災害連絡管が整備されており、災害時には飲料水の相互融通が行えるようになっている。また、平成29年度から簡易水道事業が水道事業に統合されることに伴い、各配水区をつなぐ管を整備し、災害時などに各配水区の水源を相互融通できるよう重点的に整備を行う。
B委員	料金制度の見直しについて、どのような料金制度を構想しているか。	上下水道局	現在の高岡市の料金体系は通増型で、使用量が多くなるほど単価が高くなる設定となっている。上下水道事業では固定費の占める割合が多く、本来なら固定費を賄えるだけの料金設定をするべきだが、そうすると基本料金が非常に高くなってしまったため、現在の料金体系になっている。今後料金収入が減少するなかで健全な経営を行っていくためには、すべてのお客様に公平で、水需要減少の影響を受けにくい料金体系に見直していく必要がある。
B委員	技術継承プロジェクトチームでは、具体的にどのような取り組みを行うのか。	上下水道局	技術継承検討委員会を設置し、上下水道事業の知識及び緊急時の対応など、年間を通して研修を行うためのメニューを作成している。高岡市上下水道ビジョンの初年度となる平成29年度からの技術継承の取り組み内容について最終的な調整を図っている。

C委員	<p>専用水道を利用している公共施設への水道利用の働きかけは。また、地下水の利用者への規制は。</p>	上下水道局	<p>市内の全ての小中学校では水道を利用している。一部の高等学校やその他公共施設については、専用水道を利用している。当局では、安全で安定してご利用いただける水道への切り替えをお願いしている。</p> <p>地下水利用の規制については、病院などにおいて、緊急時のバックアップとして専用水道を保持している例もあり、一律に規制を行うことは難しいと考える。</p>
C委員	<p>水道事業に比べて下水道事業の企業債残高が多いが、汚水と雨水の配分がわからない。汚水処理にかかる使用料等が適正であるか等を見極めることが難しいため、汚水と雨水を区分して提示すればどうか。</p>	上下水道局	<p>下水道事業として一括して企業債を借り入れしているため、企業債残高については汚水と雨水を分けてはいない。</p> <p>なお、使用料単価や一般会計繰入金を算定する際には、処理水量や事業費の比率により、汚水分と雨水分を分けて計算している。</p>
【2 平成 29 年度予算（案）概要】			
C委員	<p>他事業体において、鉛給水管の更新を進めたところ、有収率が向上したと聞いている。高岡市においても、早期に鉛給水管の更新を進めてほしい。</p>	上下水道局	<p>本市では、良質な水道水の供給を図るため、また、漏水の要因となる鉛給水管の更新事業を進めてきている。当ビジョン計画期間内には、全量更新を目指す。</p>
A委員	<p>資本的収入における補助金、出資金、他会計負担金等の内容は。また、長期前受金戻入の原資となる科目は。</p>	上下水道局	<p>国・県補助金は、老朽管の更新や施設の耐震化事業について、国や県から補助されるものである。</p> <p>他会計出資金は、老朽管の更新事業に充てられ、他会計負担金は、消火栓の設置費用を市が負担するものである。</p> <p>工事負担金は、道路の整備等に伴う水道管移設工事について、国や県、市に負担してもらうものである。</p> <p>長期前受金戻入は、国・県補助金及び他会計負担金、工事負担金を原資にし、一般会計出資金は長期前受金には含まれない。</p>